

FUJIMI

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

学校法人 山崎学園

富士見中学校高等学校

〒176-0023 東京都練馬区中村北4-8-26

Tel 03-3999-2136 Fax 03-3999-2129

mail@fujimi.ac.jp



Follow us on Instagram
@fujimi.tokyo.otomegusa



最新情報はホームページで

富士見

検索

<https://www.fujimi.ac.jp>



2023 GUIDEBOOK

富士見中学校高等学校

VISION & MISSION

確かな自分軸を持ち、変貌する時代を生き抜く

世界は今、大きく動いています。テクノロジーが加速をつけて進歩するとともに、地球温暖化に伴う気候変動、コロナ禍の感染拡大など、誰もがまったく予測し得ないことが次々と起こり、その対応には模索が続いている。またグローバル化が私たちの社会に多様性をもたらす一方、国際紛争などで世界秩序が危機にさらされる状況も生まれています。あらゆることが複雑に絡み合い、「こうすれば問題が解決できる」という正解は見出せず、将来を予測することは困難です。

このような時代において何よりも必要となるのが、「自分はどうありたいのか? どう生きたいのか?」を考え、「自分なりの答え」を出すことです。それこそが、自分らしく、よりよい人生を歩むための「自分軸」になるといえるでしょう。

そして富士見では、その根本が本校の建学の精神にあると考えています。富士見の建学の精神は「純真・勤勉・着実」です。「純真」とは「まごころ」のことであり、感謝の気持ちや、人と支え合い、人を大切にする心を指します。また、「勤勉」とは自分のすべきことを一心不乱に、精一杯行うこと。「着実」はうわべだけでなく、中身のある人をめざして一歩一歩積み重ねること、責任ある行動をとることを意味します。どんなに情報化や技術革新が進もうと、その技術を利用する人は「人」です。人が「純真・勤勉・着実」の精神を忘れては人類はけっして幸せにはなれません。だからこそ、何よりも人と関係を大切にする「まごころ」を育てたい。そして人々の幸せを願い、自分のすべきことを責任をもってやり続ける姿勢を身につけてほしい。富士見が創立時から守り続けた精神が、今、この変貌する時代を生き抜くための確かな「自分軸」を培う源になると確信しています。

「自立」と「貢献」をめざして、既存の枠から飛び出す

現在、富士見ではあらゆる場面で、「自分の意見を形成する力」「人を巻き込む力」「課題を発見する力」といった「17の力」を生徒が自然に身につけられるようプログラムしています。生徒は「17の力」を意識して学校生活を送り、客観的に自分をふりかえることで、自分のよいところも悪いところもすべて受け入れます。それが自己肯定感につながるとともに、次の一步を踏み出すきっかけとなり、一人ひとりが自立した学習者に成長していくのです。

中高6年間を通してステップアップしながら取り組む探究学習も、「17の力」を育む大切な場になっています。そこで基本的なスキルを身につけながら興味の幅を広げ、より深く学びたいという意欲をもって、自主的な活動を始める生徒も少なくありません。もともと校内の活動は非常に活発でしたが、最近は外部のコンテストや企画に参加し、全国の同年代の中高生や社会人から刺激を受け、新たな気づきを得る生徒が増えています。「やりたい!」という生徒がいれば、できる限り後押しするのが私たち教員のスタンスです。そして生徒たちは、ふだんと異なる環境でさまざまな経験を重ね、自分を見つめ直し、多角的な視点を身につけて、ひとまわりもふたまわりも大きく成長しています。

富士見は創立以来、「社会に貢献できる自立した女性の育成」を教育の目標に掲げてきました。「自立」とは「自分の人生を失敗を恐れず、自ら切り拓いていくこと」、「貢献」とは「さまざまな課題を自分事として捉え、解決に向けて取り組むこと」であり、「17の力」を身につけることは富士見のめざす「自立」と「貢献」の確立につながります。

今後はさらに、既存の枠から飛び出し、自由な発想で、自分の人生や未来を自分でデザインする、そんな生徒が育ってくれることを願っています。

知的好奇心をもって、失敗を恐れずチャレンジしてほしい

人生にはつらいことや悲しいこともあります。ときには苦しくて耐えられないと思うこともあるかもしれません。でも人は、そのすべてを乗り越えて生きていかなければなりません。また変化の激しい時代、置かれた環境のなかで、立ち止まらずに変化に柔軟に対応していくことが求められます。そのとき自分を支えてくれるものは何か?—私はそれが“知的好奇心”だと思っています。

みんながこれから中学・高校と進むなかでも、知的好奇心は大きな力になります。勉強に取り組むときはもちろん、何か新しい経験に出会ったときも、目の前に難しい問題が立ちはだかったときも、知的好奇心をもって知識や経験を得ようとすることで、失敗を恐れず、積極的にチャレンジし、乗り越えていくことができるでしょう。また、失敗したり、挫折したときも、おじけづかず、新しい世界にもう一度チャレンジしてみようという強い気持ちで新たな一步を踏み出すことができるでしょう。

富士見では学校生活のいろいろな場面に挑戦する機会をつくっています。学校行事やクラブ活動・委員会活動、さらには日々の授業のなかにも小さな挑戦がたくさん散りばめられています。また、社会とつながる自主活動では、コロナ禍でもグローバル体験ができるプログラムなどが充実しています。そして学校内外の活動に挑戦する仲間もたくさんいます。そのなかで私たち教員が心がけているのは、すべての生徒が「失敗しても戻ってこられる場所がある」と実感し、安心して何度でも挑戦できる環境をつくること。手をかけ過ぎるのではなく、できるだけ生徒の行動を見守り、失敗も挫折も、次につながるステップになるように促していく。知的好奇心を育み、将来の幅を広げるチャンスをたくさん用意している富士見中学校へ、ぜひ楽しみにして入学してください。

富士見中学校高等学校 | 校長 | 佐藤真樹
Principal Masaki Sato



富士見の校章

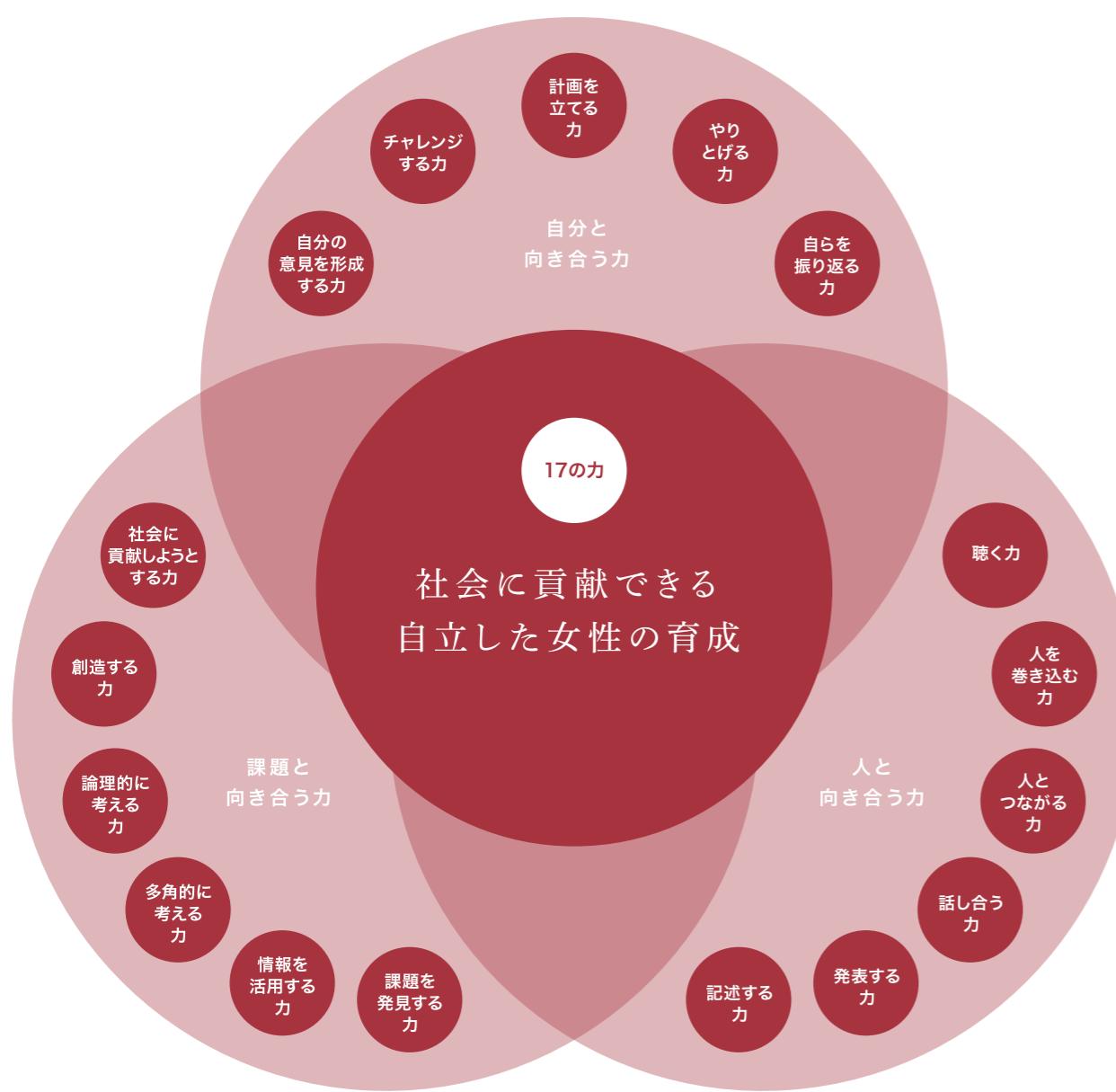
ふちどりのハート型はやさしく豊かな心を、三つの角は富士をかたどっています。その中の文字は、富士見のイニシャルのF。白は建学の精神である「純真」を、臙脂(えんじ)は「勤勉」「着実」を表しています。



17 SKILLS

17の力

これからの予測できない多様化していく社会のなかでは、「さまざまな課題を自分事として捉える」「異なる文化背景をもつ人と協働する」「課題解決にあらゆる視点から取り組む」ことが必要です。「自分と向き合う力」「人と向き合う力」「課題と向き合う力」を富士見では「17の力」に具体化しており、6年間のあらゆる教育プログラムのなかで身につけていきます。



自分と向き合う力

Personal Growth

多様化する社会で国も文化も異なる人々と互いに共生していくために、まずその土台となる“自分自身”と向き合い、“自分”を知ることで、自らのアイデンティティ（自己認識）を確立していきます。「自分と向き合う」ためには「ふりかえり」をすることが大切です。富士見ではあらゆる教育活動のなかで「ふりかえり」を行っています。



課題と向き合う力



Task Achievement

社会の変化がますます加速しているなか、知識を活用して、複雑な課題を解決し、新しい価値を生み出す力が求められています。中学3年間では「問う」「調べる」「伝える」を何度も繰り返し、生徒たちは自らの力で、あるいは多様な人々と協働しながら、課題に粘り強く向き合う姿勢と体力を育みます。



人と向き合う力

Mutual Growth

自分のアイデンティティを大切にしながら、さらに他者を理解することで、社会と“自分”的関わりを広げていきます。校内の活動はもちろん、学校の枠を超えたさまざまな機会を通して、この世界でともに生きる共生・協働の精神を育んでいきます。



RUBRIC

一人ひとりが「今の自分」と向き合い、「なりたい自分」を描く

ループリックとは、一人ひとりの学習到達状況・学習パフォーマンスの質を評価するための評価基準マトリックスです。富士見では学習に限らず、あらゆる教育活動のなかで、縦軸に「17の力」に基づく評価観点（評価項目・定義）を、横軸にSからEの到達レベルを置き、生徒自らその評価を行っています。ループリックでふりかえることにより、生徒は目標や課題点をしっかりと認識したうえで、これまで以上に積極的・意欲的に何事にも取り組んでいきます。富士見が大切にしている教育を推し進めるなかで、知識と社会を結びつけることにより、一人ひとりのメタ認知（客観視）力・自己肯定感を高めながら、ループリックを活用して自立した学びへ導いていきます。

INQUIRY BASED LEARNING

探究学習

探究学習は、自分で課題を設定し、情報を収集・整理・分析して、ほかの人と対話・協働しながら、自分の考えをまとめ・表現する学びです。中学では探究に必要な基本的なスキルを身につけられるように、中1は「問う」、中2は「調べる」、中3は「伝える」を重点目標としています。高校では中学で培ったスキルを活かし、社会の課題と自分の興味・関心をつなげます。「自分だからこそ社会に貢献できる強みを見つけてほしい」そんな思いでつくられているのが富士見の探究プログラムです。



Junior High School

中1は「モノ」をテーマにした「モノ探究」、中2は練馬区の地域をテーマにした「ねりま探究」というように、大きなテーマを軸に探究を進めます。そして中3ではじめて、自分でテーマを決める「my探究」をします。3年間を通して探究する学びに必要な基本的なスキルを身につけ、自分の興味・関心をみつけていきます。また、異なる学年で学びの成果を発表する機会を積極的に設けています。

Senior High School

高1は「SDGs」をテーマにした「SDGs探究」にグループで取り組み、社会の課題に目を向けます。そして高2から高3にかけて、富士見での学びの集大成となる「学びの履歴書(卒業研究)」に挑戦。この取り組みは「自分が何に問題意識をもつていて、それに対してどう考えるかを他の人に伝える」ものとなります。また、校内にとどまらず、校外での発表会への参加を推奨しています。



SDGs

Sustainable Development Goals

SDGsとは国連が採択した、2030年までに達成をめざす17の国際目標。SDGsを達成するためには、まず社会の課題が何かを知ることが必要です。そして特に大切なのが、解決のための「アクション」です。「SDGs探究」では、関心のある目標が近い生徒同士でチームをつくり、フィールドワークやインタビューをします。その過程で、SDGs達成に向けて一生懸命取り組んでいる大人と出会い、社会の課題を体感します。そうした経験から自分たちができるることは何かをじっくり考え、行動に移し、最後は1年間の活動を在校生に向けて発表します。



my 探究

Senior Thesis

中学3年間の学びの集大成となる「my探究」は、自分でテーマを決めて探究します。中2の3学期からスタートし、はじめは中1・2の学びをふりかえりながら、自分の関心事を探ります。自分が1年間探究していきたいテーマを決めたら、文献調査からはじめます。そして、もっと深めたいことを実際の現場で確かめるフィールドワークを行い、最後は電子書籍の形で成果をまとめます。探究をすすめる過程で、ほかの人と共有し、フィードバックをもらうことで、新たな視点を得て、自分の研究をふりかえることができます。



SCIENCE PROGRAM

さまざまな取り組みで、豊かなサイエンスマインドを育てる

本校では近年、建築・環境・情報等の理工系学部を志す生徒が増え、それに伴って高校の理系選択者も増えてきています。このような本校の状況のなか、2020年度に東京理科大学と教育提携を結びました。昨今の新型コロナウイルスの影響により、直接的な対応が難しい状況ではありましたが、教養講座への参加や、研究室紹介などを実施してきました。教養講座はオンラインでの実施で、さまざまな分野の講座を視聴・質疑を行い、生徒自身の興味・関心を広げました。研究室紹介は、本校の卒業生によるリアルタイムの実施で、普段は入ることのできない所を卒業生と現役生が対話をしながら紹介するという形でした。今後は新型コロナウイルスの動向を注視しつつ、研究室訪問や大学生との共同研究など行なっていき、サイエンスマインドを耕していく予定です。

東京理科大学
との連携





中学3年 | 渡部江葉・柴田夏佳

Konoha Watanabe · Natsuka Shibata

一人では難しくても、仲間がいれば成し遂げられると実感しました

中2の探究学習「ねりま探究」では、「住み続けられるまちにするために、私たちができることは何か」という問い合わせのもと、1年間かけて富士見のある練馬区をフィールドに探究活動を行いました。4人ずつのグループに分かれて、それぞれ「子育て」「高齢者福祉」「防災」「環境・みどり」からテーマを選び、そのなかの課題を発見し、解決するためのアイディアを出し合います。私たちは「高齢者」を選び、練馬区のホームページや高齢者施設のアンケートを調べたところ、高齢者の要望として、「生きがいづくりや社会参加の政策について、より力を入れてほしい」という意見が最も多かったことから、「生きがいを増やそう！」をスローガンに決定。高齢者が生きがいを感じられるような取り組みを考え、アクションを起こすことにしました。

授業ではNPOやボランティアの方の講演を聴いたり、区役所の方にアドバイスをいただく機会があり、だんだんと企画を具体化していきました。私たちは高齢者と交流する場をつくることを目標とし



て、美雪祭に高齢者を招いて趣味を披露してもらう「シルバニア」と、高齢者と富士見生が1対1で文通する「シルバーレター」を考案しました。コロナ禍のため、美雪祭が動画開催となって「シルバニア」は実行できませんでしたが、「シルバーレター」は、コロナ禍で人ととの関わりが制限されているなかで、感染の不安もなく、交流を深めることができるとてもいい方法だと話し合いました。先生にもアドバイスを受けて、高齢者施設に電話でお願いし、文通がスタート。高齢者の方はとても喜んで、趣味の塗り絵作品を送ってくださるなど、生きがいにつながっていることも伝わってきました。この交流は、自主活動としてさらに幅を広げて続けています。

「ねりま探究」では、「自分で課題を見つけて、考え、実行する」ことで、行動力や自立心が身についたと思います。また一人では難しいことでも、仲間がいれば成し遂げられることを実感しました。小さなアイディアが、みんなの力で大きな成果につながるすばらしい経験になりました。



高校2年 | 楠元優恵・福嶋彩愛

Yuue Kusumoto · Ayana Fukushima

学校外に飛び出して、SDGs思考のコンテストに挑戦しました

富士見には自主活動に取り組む生徒が多く、高校生になると、積極的に学外の活動に参加する生徒が増えてきます。私たちも勉強や部活動以外に何か大きなことに挑戦したいという気持ちがありました。「観光甲子園」に参加したのは、学校に掲示されているポスターを見たのがきっかけです。「観光甲子園」は、全国の高校生が観光地の魅力や課題を3分間の動画にまとめて、その成果を競う大会で、2021年度は、世界に向けて日本遺産をPRする「日本遺産部門」と、自分たちの町を舞台にした修学旅行プランをSDGs思考の体験型メニューで企画する「SDGs修学旅行部門」の2部門で開催されました。書類審査による予選のあと、動画作品による準決勝が行われ、最終的に5チームが決勝に進出して、動画作品の企画・調査から制作に至る過程を5分間のプレゼンテーション動画にまとめて発表します。富士見生は高1の探究学習で「SDGs探究」に取り組むこともあります、ふだんからSDGsを意識して生活しています。「観光甲子園」の「SDGs修学旅行部門」は、自分たちに



ぴったりの興味深いコンテストだと思いました。
さっそく4人のメンバーが集まり、富士見のある練馬区を舞台に2泊3日のプランを考えるところからスタート。SDGsに取り組んでいる施設や場所を探してアポを取り、実際に取材や撮影をして動画を作成しました。すべてはじめての経験で緊張もあったし、日程の調整に苦労したり、撮影を断られて落ち込むこともありました。みんなで話し合い、それぞれの得意分野を活かして、納得のいく作品ができたと思います。編集の過程でも、見せ方を工夫したり、SDGsの視点から色弱の方や耳の聞こえない方に配慮したテロップをつけるなど、アイディアを出し合いました。結果として初出場ながら決勝に残り、審査員の方にもほめていただけてとてもうれしかったです。
この経験を通して培った、失敗を恐れずに挑戦する力や仲間との協調性、そして苦しくても最後までやり遂げる力を、今後の探究活動や学校生活に活かしていきたいと思っています。

GLOBAL AWARENESS

グローバル

富士見では、世界を肌で感じる機会を数多くつけています。文化・考え方の多様性を知り、大きく視野を広げて自分と世界をつなげる姿勢を育むことも、国際交流の大切な目的です。多感な時期にこそ“外の世界”へと果敢にチャレンジし、失敗も含めてより多くの経験を積むことが、その人だけのかけがえのない「経験値」になります。世界を感じるまたとないチャンスに、勇気を出して飛び出しましょう。

海外研修

Overseas Programs

ホストファミリーとの生活や現地の人々との交流が体験できるアメリカやオーストラリアの語学研修・台湾の姉妹校である曙光女子高級中学での日本文化発表や生徒たちとの交流プログラムなど、目的に応じてさまざまな研修プログラムを実施しています。ベトナムでのグローカルリーダー研修では、現地大学生とのフィールドワークを通じ現地課題への解決策をまとめ、英語でのプレゼンにもチャレンジします。



国内外での多文化交流

Intercultural Exchange

来日する海外の中高生との交流行事を年間数回実施しています。また、文通やビデオレター、オンラインなどでも海外の生徒と活動に交流しています。2021年度は姉妹校である台湾の曙光女子高級中学や、オーストラリアの学校とオンラインで交流しました。また、模擬国連の大会や練習会では有志の生徒が参加し、一国の大使役となって他校の生徒との交渉に臨みました。2020年度は全日本高校模擬国連大会に高2の生徒が出場しました。さらに、近年は生徒が運営する校内模擬国連「富士見会議」も開催しています。



留学生受け入れ

Studying Abroad

ニュージーランド協力校での約3ヶ月のターム留学と、1年留学を実施しています。現地の生徒や他国からの留学生とともに学ぶことで、日本とは違う価値観・文化に触れ、チャレンジする力や人とつながる力を身につけます。帰国後は、後輩たちへ向けて英語による留学報告プレゼンテーションを行います。



留学生受け入れ

ニュージーランド・台湾の姉妹校から毎年、留学生を受け入れています。留学生は在校生宅にホームステイし、授業やクラブに参加。刺激し合い、助けながら友情を育んでいきます。また、富士見は文部科学省の補助事業である「アジア高校生架け橋プロジェクト」のホストスクールであり、これまで韓国・ベトナム・タイからの留学生の受け入れを行っています。



留学生受け入れ

【姉妹校】●新竹市私立曙光女子高級中学[台湾]●Palmerston North Girls' High School[ニュージーランド]
【ニュージーランド協力校】●Baradene College of the Sacred Heart●Freyberg High School●Whangaparaoa College●Gisborne Girls' High School●Whanganui Girls' College

GLOBAL CENTER

世界をもっと身近に！ 専門スタッフが常駐する「グローバルセンター」

富士見のグローバル教育は、「異文化（多様性）への理解」「地球規模で考える複眼的な思考の醸成」「自己の確立」「外国語・コミュニケーション能力の向上」「アジア諸国・発展途上国への理解」を目的として、国内でも海外でも生徒がさまざまな体験ができるよう多くのプログラムを実施しています。こうしたグローバル教育を推進し、生徒が海外とのつながりからより学びを深められる環境を整えるため「グローバルセンター」を設置しました。ここでは、海外大学進学を希望する生徒へのサポートや在学中の留学や研修の充実など、成長していく生徒たちの興味・関心に寄り添い、グローバルな学びの機会を創出。自分の座標軸をしっかりと、異文化と多様性への理解を深めることで、グローバル化が進む社会に貢献できる自立した女性の育成をめざしています。



コロナ禍でも果敢にチャレンジする! 富士見のグローバル教育

「世界を体験する」「世界の人と出会う」「世界の今を考える」を目標に掲げる富士見の国際教育。コロナ禍で実際に海外に行くことが難しくても、最大限の工夫をしてさまざまな活動を展開し、地球市民としての姿勢を培っています。

SDGsも学ぶオンライン海外研修

京野 富士見には多彩な海外研修プログラムや留学制度がありますが、昨年度は、コロナ禍により、生徒の安全を最優先に考えて渡航を断念せざるを得ませんでした。本当に残念でしたが、その代わり、國內にいても国際交流ができるような富士見ならではのプログラムを考えて、いろいろと工夫しながら取り組みました。昨年度、新たに開設されたグローバルセンターの力もあり、思った以上に充実した活動ができたと感じています。

伊藤 グローバルセンターでは、コロナ禍にあっても、より幅広い内容のグローバル体験プログラムを企画し、生徒たちが果敢にチャレンジできる機会をつくりたいと考えています。昨年はオンラインで海外研修も実施しました。アメリカのオレゴン州セラムとつなぐ5日間の英語レッスン&ホームステイ体験と、フィリピンのセブ島とつなぐ2日間の交流体験&SDGs研修には、中1から高2まで約25名ずつが参加しています。どちらも短い研修ですが、そのなかで多くの吸収する体験となり、研修を終えた生徒たちの表情はとても晴れやかでした。

京野 多田さんはセブ交流体験に参加しましたね。

多田 はい。英語レッスンだけでなく、セブ島で貧困層の子どもをサポートする寺子屋を運営している日本人の方のお話を聴き、実際に子どもたちと交流もしました。英語で伝えることに苦労しながらも、スライドを使って日本のことを紹介したり、一緒にゲームをしたりして楽しく過ごすことができました。オンラインとはいえ、現地の貧困の実態を自分の目で見て、SDGsに対する意識が高まり、今後につながる学びになったと思います。

グローバルセンター長 | 伊藤恭子

Kyoko Ito

高校1年 | 林 凜音

Rio Hayashi

世界の問題を「自分事」として考える

京野 姉妹校ともオンラインで交流しています。台湾曙光の生徒と富士見の生徒がひとつのグループになり、SDGsに関するジェンダー平等と災害対策をテーマに、ディスカッションやプレゼンテーションに取り組みました。異文化異言語だからこそそれ違いがあったり、考えがうまく共有できなかったりと、多くの困難があったと思いますが、生徒たちはこちらの予想をはるかに超える見事なプレゼンを見せてくれました。また、「世界の今を考える」体験としては、模擬国連も大きいと思います。林さんはさまざまな模擬国連に参加していますね。

林 中2から15回以上、模擬国連に参加しました。コロナ禍ということですべてオンラインでの開催でしたが、帰国生や海外からの参加もあって、とても楽しく刺激的でした。英語の会議は、最初のうち、何を言っているのかまったくわからず、びっくりしました。でもだんだんと聞き取れるようになったし、準備のために英語の資料を読んだり、白熱した議論のなかで自分も大使として発言したりしているうちに、英語力だけでなく、多角的な視点や発信力も身について、大きく成長できたと感じています。今後も積極的に参加していくつもりです。

京野 校内でも、高校の国際交流委員会の生徒が中心になって、留学生との交流会や中学生が英語に触れるオンラインイベントを開催するなど、生徒主体で活動しています。コロナ禍でも、自分たちのできることを考えて行動する富士見生のパワーはすごいですね。

伊藤 英語が話せて、海外に行くことだけがグローバルではありません。富士見の国際交流プログラムに積極的に挑戦して、地球市民として、世界の問題を「自分事」として考えられるようになってほしいですね！ さらなる成長を楽しみにしています。

高校2年 | 多田菜々子

Nanako Tada

国際交流部 | 京野千尋

Chihiro Kyono



EDUCATION

教科教育

富士見では課題解決に必要な「思考力・判断力・表現力」をあらゆる教科のなかで育んでいます。同時に、生徒の興味・関心を広げ、好奇心を刺激する授業を行っており、そのひとつに「プロジェクト型学習（Project Based Learning）」があります。こうした授業を通して、生徒はさまざまなツールを活用しながら、自立した学びを行っています。

フォーサイト手帳

Foresight Planner
6年間の充実した成長の土台となるのは、「計画を立てる力」や「ふりかえる力」などです。富士見では、「フォーサイト手帳」を使って、スケジュールを把握し、自分の生活リズムに合った計画を立てています。日々の授業やクラブ・課外活動など、活躍の場が広がるこの時期に自らの生活をしっかり捉える習慣を身につけ、主体的に自立した学校生活を送ることをめざしています。

フォーサイト手帳とは…

中学3年間を通して、毎日の「スケジュール」と「ふりかえり」を記入する手帳です。次の日の持ち物や授業内での提出物などを記入したり、帰宅後の時間をどのように過ごすか、計画を立てたりふりかえることで、安定した生活リズムをつくる手助けとなっています。



中2生物 環境問題についての番組作成

Advanced Biology

中2の生物地学の授業では、一人ひとつ、環境問題に関する5分ほどの番組作成に挑戦。自分でテーマを選び、そのメカニズムや問題点が伝わるよう、自分の言葉で説明します。一人ひとりが主演であり、ナレーター・カメラマン・監督です。できあがった作品はそれぞれの個性が存分に発揮されたものとなり、環境問題を通して、自分で表現し伝えることの楽しさを感じることができたようです。



学外課題×デザイン×富士見

中1美術

Art

中1の美術では、近隣にある練馬区立美術館にご協力いただき、デザインを通した課題解決に向き合います。美術館職員の方々が感じられている問題点をもとに、生徒は解決案を計画して提案。問題点の背景に潜む本質へ向き合うためには「課題を見発見する力」が必要です。グループワークでビジョンとターゲットを見定め「問い」を出すところからはじめます。こうして生徒は柔軟なデザインを提案していきます。



高2現代社会 富士見ダイバーシティーウィーク

Contemporary Society

“多様性（Diversity）”について考える校内キャンペーン。生徒たちは開催のために、「マイノリティ（少数派）」が生きづらさを感じるのはどんな社会課題があるからなのかを、さまざまな文献から情報収集。そして、答えがひとつではない問い合わせについて対話をしながら考える活動である「哲学対話」を通して思考を深めます。最後には、社会課題の解決につながる「コトバ」を考え、一人ひとりカードをデザイン。カードの展示場所や方法にもこだわり、他学年の生徒や教職員の関心をひくような展示を行いました。

ICT BASED EDUCATION



特別な道具ではなく、「わたしの文具」として使いこなすタブレット

富士見では全学年でひとり1台のiPadを使用しています（個別アカウントを付与）。調べ学習での使用やプレゼンテーション資料の作成、学校からの連絡、課題の提出など、オンラインでのさまざまなやりとりに幅広く活用しています。校内は、高速大容量の通信ネットワークシステムやクラウドなど、GIGAスクールとしての環境が整備されています。2020年4月の緊急事態宣言下での休校期間中は、Google Classroomを利用して全学年・全教科でWEB授業を配信しました。朝のホームルームと授業配信、L-Hubサイト（図書館サイト）の公開など、規則正しい生活リズムを保ちながら「学びを止めない」ためのさまざまな取り組みを実施しました。

CURRICULUM

カリキュラム

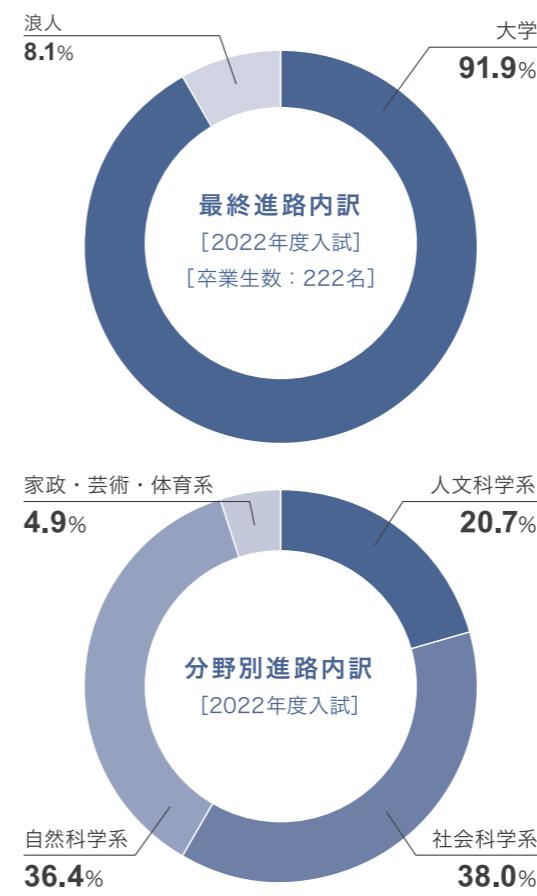
創意工夫を活かした特色ある教育活動を展開し、基本的な知識・技能を確実に習得するなかで「生きる力」を育成する富士見のカリキュラム。課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を養うとともに、自ら能動的に学習に取り組む姿勢を育みます。また、社会人を招いての講演会や自然体験活動など、国際社会に生きる人としての自覚と資質を身につける、さまざまな取り組みを行っています。



CAREER GUIDANCE

進路指導

富士見では、各学年で生徒の発達段階を考えながら、それぞれの自己実現を援助していくための進路指導を実践しています。「1.自己理解や自己発見を深める」「2.社会を知り、社会と関わり、思いやりの精神を育む」「3.先輩の生き方・考え方を学び、自分の将来をみつめる」これら3つを核として、生徒自身が自分の手でよりよい未来を切り拓くための手助けとなるようプログラムしています。



□大学別合格実績抜粋 [2022年度入試]

私立大学	総数	現役	浪人
慶應義塾大学	7	7	
早稲田大学	36	36	
上智大学	32	32	
国際基督教大学	1	1	
東京理科大学	20	19	1
青山学院大学	24	23	1
中央大学	31	29	2
法政大学	54	52	2
明治大学	68	67	1
立教大学	85	84	1
学習院大学	18	18	
津田塾大学	11	11	
東京女子大学	43	43	
日本女子大学	27	26	1
成蹊大学	33	32	1
成城大学	12	12	
武藏大学	29	29	
明治学院大学	15	14	1
聖路加国際大学	1	1	
北里大学	9	9	
芝浦工業大学	28	26	2
東京薬科大学	6	6	
星薬科大学	9	9	
明治薬科大学	11	11	
帝京大学 [医]	1	1	
小計	611	598	13

NEW CURRICULUM

RECOMMENDATION

教科活動と探究活動の連携を図り、学びの幅をさらに広げる

中学は2021年度、高校で2022年度からスタートした新学習指導要領に基づく教育活動。特に重視しているのは「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の実践です。本校ではすでに多様なテーマのもと積極的な探究活動を行っていますが、今後はさらに探究活動と教科活動の連携を図る取り組みを増やしていきます。これまで通り基礎をしっかりと固め、学力の土台をつくる指導を継続しながら、「(問題を)どう解くか」だけでなく「学んだことをどう活かしていくか」という視点を加えて考察し、生活者としてさまざまな事象に疑問をもつ姿勢を育みます。先が見えない時代に、あえて「見えないからこそ楽しい!」「わからない」にわくわくする!」と思える生徒を育てたい——。富士見は、これからも多彩な取り組みで一人ひとりの学びの幅を大きく広げていきます。



- 青山学院大学 (理工)
 - 学習院大学 (経済・文・理)
 - 北里大学 (看護・医療衛生)
 - 慶應義塾大学 (法)
 - 国際基督教大学 (教養)
 - 芝浦工業大学 (工・システム理工・デザイン工・建築)
 - 上智大学 (外国語・理工)
 - 中央大学 (法・商・文・総合政策・理工・国際経営・国際情報)
 - 津田塾大学 (学芸・総合政策)
 - 東京女子大学 (現代教養)
 - 東京薬科大学 (薬・生命科)
 - 東京理科大学 (理・先進工・経営・工)
 - 日本獣医学科大学 (応用生命科)
 - 日本女子大学 (家政・人間社会・理)
 - 日本赤十字看護大学 (看護)
 - 法政大学 (情報科・理工・生命科)
 - 明治大学 (国際日本・総合数理)
 - 明治薬科大学 (薬)
 - 立命館大学 (理工)
 - 早稲田大学 (文化構想・基幹理工・創造理工・先進理工)
- ほか約100校

学校推薦型
選抜



FACILITIES

教育環境

2020年に迎えた創立80周年記念事業の一環として建設された富士見の校舎。シンボルは1日中、生徒が行き交うセンターホールです。そのほか、3つの理科実験室や2つの音楽室などの特別教室、テニスコート6面が確保できる人工芝のグラウンド、各学年に設けられた教室フロアのコモンスペース、売店併設のラウンジ、生徒から「エルハブ」と呼ばれ親しまれる図書館など…。快適な学習環境を用意しています。



- ① センターホール
- ② フサード／正門
- ③ 化学実験室
- ④ 音楽室
- ⑤ 普通教室
- ⑥ 和室
- ⑦ パソコン教室
- ⑧ 山崎記念講堂
- ⑨ グラウンド
- ⑩ 体育館
- ⑪ 温水プール



Interviews



L-Hubを活用して、可能性を広げていきたいと思います

高校3年 | 前島華乃

L-Hub（エルハブ）は、富士見の学びに欠かせない場所です。明るく、居心地のいい空間で、読書はもちろん、自習したり、探究学習のための資料を集めたり、グループワークをしたりと、みんな頻繁に利用しています。Wi-Fi環境も整っているので、自分のiPadを持ち込んで調べ物をしている人もいます。大型スクリーンに資料や動画を映すなど、授業で使われることも少なくありません。高2の現代社会では、椅子を円形に並べて、「哲学対話」にも取り組みました。また、先生方のおススメ本を紹介する「富士見100冊 7つの扉」という冊子や、司書の先生が厳選した「本の福袋」が用意されているなど、本に親しむための楽しい仕掛けもいっぱいです。これからも、L-Hubを活用して深く学び、自分の可能性を広げていきたいと思います。



学びの核となる図書館

Learning Hub

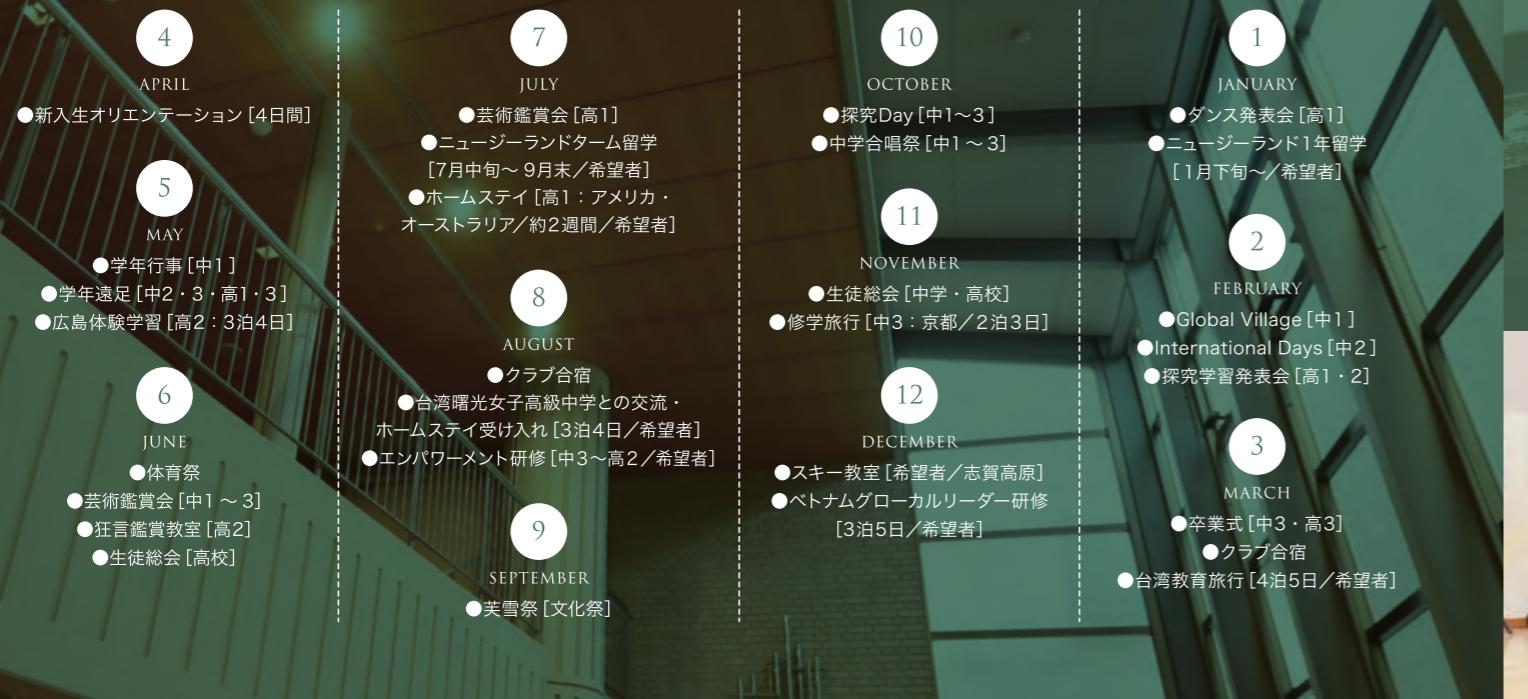
さまざまな学びを支援する図書館は“Learning Hub”（略してL-Hub）と呼ばれる2フロアの独立棟。2階は探究学習や学び合いに最適な空間として設計されたフロア。ひとりで調べたり、グループで話し合ったりが自由にできる机や椅子、無線LANやプロジェクターを完備して、全体共有もできる場です。3階は思い思いに読書できるように、ソファや椅子を多く配置したフロアです。



EVENTS

学校行事

富士見の伝統は「生徒主体」。何ごとも積極的に関わり活動する姿勢が、富士見生のイキイキと活発な様子にも現れています。なかでも美雪祭・体育祭は、その“富士見スピリット”がいかんなく發揮される特別な行事。また、生徒総会・全校朝礼も生徒自身の手でプロデュースしています。どの行事も、見事な盛り上がりを見せる富士見の行事。誰もが主体性をもって「自分事」として関わる姿勢の賜物です。



CHORUS FESTIVAL

富士見生のパワーで、心に残る合唱祭ができました

高校1年 | 二瓶沙彩・牧野聰子

合唱祭は中学生だけの開催ですが、みんなでひとつの曲をつくり上げる経験を通して絆を深める、富士見生にとって、とても大切な行事です。例年、音楽の授業はもちろん、朝・昼・放課後とクラス全員で練習に打ち込み、本番に臨みます。昨年度はコロナ禍の感染対策でたくさんの制約がありました。パートごとにハミングだけで練習したり、プロジェクトを使って自分たちの演奏を確認し、反省点や次の目標を話し合うなど、さまざまな工夫をして取り組みました。私たち実行委員会も対面で会議ができず、悩んだこともありましたが、実際にみんなの美しい歌声がホールに響き渡るのを聴いて、大きな達成感を感じました。困難な状況下でもあきらめず、前向きに挑戦する富士見生のパワーで、心に残るすばらしい合唱祭ができたと思います。



体育祭

Sports Festival

6月には、全校生徒で取り組む体育祭が行われます。全校生徒が3色に分かれ、さまざまな競技種目で火花を散らします。また、中1・3の創作ダンスが披露され、最後は高3で幕を閉じます。各クラスからダンス委員が選ばれ、音楽・振りつけ・フォーメーションなどすべて自分たちで創り上げ、毎年、さまざまな扇の舞を見るることができます。



美雪祭

Culture Festival

9月には、富士見生のパワーが存分に発揮される学校最大の祭典、美雪祭が行われます。中1・2は探究学習の経験を発表し、中3から高2はクラスごとに企画をデザインします。昨年は美雪祭実行委員会を中心に「with」というテーマのもと、コロナ禍で新たに創出されたオンライン発表を、対面実施(=オンライン発表)へ「つなぐ」べく、新たな形を模索しながら取り組みました。



Global Village・ International Days

Global Village・International Days

中1が取り組むGlobal Villageでは、日本で学ぶ留学生との交流を通じて、多様な世界・文化に触れていくいます。中2が取り組むInternational Daysは3日間にわたるプログラムになっており、授業で学んだ英語力を活用しながら、探究学習の一環として、疑問をもち、調べる力を養うことを目的としています。



芸術鑑賞会

Art Appreciation

中学は雅楽・歌舞伎・ミュージカルを、高校はオペラ・狂言を鑑賞する機会を用意しています。富士見の芸術鑑賞会は、人間国宝の野村萬氏(狂言鑑賞教室)や東儀秀樹氏(雅楽)をお招きするなど、校内にいながら一流の演奏・演技を間近で鑑賞できるまたとない機会。生徒たちは、6年間を通して文化的・芸術的な感性を高め育んでいます。

CLUBS

クラブ活動

クラブ活動は兼部も含め最大週4日まで。なかでも中学生の入部率は高く、中1の入部率は100%超、高校でも75%以上の生徒が勉強と両立させながら活動しています。富士見ではクラブ活動も大切な人間教育の場と捉えており、全教員がいざれかのクラブ顧問に就任しています。全国大会出場のクラブもあるなど、活発に活動している富士見のクラブは、学年・クラスを超えた絆を育む機会にもなっています。



Interviews



チームのみんなと支え合い、文武両道をめざします

中学3年 | 横山文香

入学前はバレー部にまったく関心がありませんでしたが、友だちに誘われて仮入部したところ、先輩の優しい指導と、できなかったことができるようになる楽しさを味わって、すぐに入部を決めました。つらかったのは、コロナ禍でクラブ活動ができない時期があったこと。技術が向上しないだけでなく、部員同士でコミュニケーションをとることができず、なかなか団結できませんでした。でも練習がはじまってからは積極的に声をかけ合い、今ではみんなとても仲よく、和やかな雰囲気で活動しています。勉強との両立は難しいと思うこともありましたが、計画を立て、それぞれに集中して取り組むようにしています。部長として周りを巻き込むことの大切さも学びました。これからもチーム全員で支え合い、文武両道を達成していきます！



ACCESS

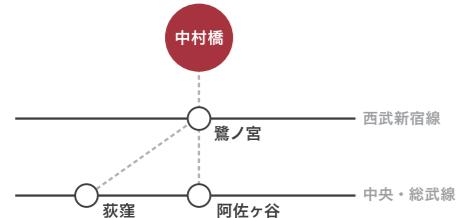
交通

西武池袋線『中村橋』から、徒歩わずか3分。2路線が乗り入れるバス停『中村橋駅』からは、歩いてたつた2分と、好アクセスは富士見の大きな魅力のひとつ。また西武池袋線は、地下鉄有楽町線・副都心線や東横線・みなとみらい線との相互直通運転も行っているなど、ますます利便性が向上しています。さらに、登下校は中学生が東門、高校生が正門を利用して、混雑を避ける配慮も行っています。



□バスのご案内

- 鷺ノ宮駅から 中村橋まで約15分
- 阿佐ヶ谷駅から 中村橋まで約20分
- 荻窪駅から 中村橋まで約30分



□富士見中学校へのアクセス

西武池袋線『中村橋駅』下車→徒歩3分／関東バス『中村橋』下車→徒歩2分



INFORMATION

インフォメーション

学校説明会A [来校型／小6対象／10:45～] ▶web予約

学校教育全般・進学実績・入試について、校長や教員が説明します。

5月28日(土) | 6月11日(土) | 6月25日(土) | 7月2日(土)

9月3日(土) | 9月17日(土) | 10月15日(土) | 10月29日(土)

11月5日(土) | 11月26日(土) | 12月3日(土) | 2023年1月14日(土)

*予約は各回の1カ月前から受け付けます。内容は保護者向けですが、児童も参加できます。

なお、開始20分前から行事の映像を上映しています。<校内案内あり>

学校説明会B [ZOOMによるライブ配信／全学年対象／14:00～] ▶web予約

学校生活のさまざまな場面にスポットライトをあてて、生徒が説明するカジュアルなオンライン説明会です。入試についての説明はありません。

9月10日(土) | 10月8日(土) | 11月12日(土)

*予約は各回の1カ月前から受け付けます。

バーチャル校内案内 [ZOOMによるライブ配信／全学年対象／14:00～] ▶web予約

ZOOMによるライブ配信で、校内をご案内いたします。

校内案内終了後はチャットによる質問も受け付けます。

11月19日(土)

*予約は各回の1カ月前から受け付けます。

受験生のための事前準備会 [ZOOMによるライブ配信／小6対象／14:00～] ▶web予約

2023年度中学入試に特化した内容をZOOMにて説明します。また、2022年度の第3回の入試問題と、午後に実施した算数1教科入試の問題を使った解説動画を併せて配信します。

12月17日(土) | 2023年1月14日(土)

*予約は各回の1カ月前から受け付けます。

オープンキャンパス [新小5・6対象／14:00～] ▶web予約

生徒会総務が企画・運営するオンライン説明会です。

6月18日(土)

*予約は1カ月前から受け付けます。

Fujimi Summer School [小5・6対象] ▶web予約

夏休み期間を利用して、親子で参加できる模擬授業を行います。

*詳細につきましては、ホームページなどでお知らせします。<校内案内あり>

英語祭 [入試相談コーナー開設／生徒会による校内案内あり]

9月24日(土) 10:00～16:00 [入場は15:00まで]

9月25日(日) 9:00～15:30 [入場は14:30まで]

*チケットは必要ありません。受験生用の受付にお越しください。

ただし、男性のみや児童のみでの入場は、ご遠慮いただいております。

個別見学と説明 ▶電話予約

放課後の生徒の様子をご覧いただけます。

月曜日・火曜日・木曜日・金曜日 16:00～

土曜日 14:00～

*予約は3日前までにお願いします。行事などによりご案内できない日もあります。

NOTICE!

新型コロナウイルスの影響により、学校説明会および公開行事の中止または実施内容を変更する場合もあります。変更や追加の説明会がある場合はホームページでお知らせします。

21

22